

令和3年度都祁地域コミュニティバスアンケート結果

1. 都祁地域コミュニティバスアンケート概要

(1) 目的

本格的な人口減少社会が進む中、都祁地域においては加速する高齢化、自家用車に依存した生活スタイルの定着などにより、公共交通機関の利用者が減少している。

こうした状況において、路線バス事業は厳しい状況が続いており、路線の縮小や廃止等が幾度も行われたため、自家用車を自由に利用できない高齢者や子ども達等、交通弱者の日常生活における移動手段の確保が課題となっている。

平成25年度実施の都祁地域コミュニティバスアンケート調査でも「今は車を運転できるからコミュニティバスには乗らないが、運転ができなくなったら移動手段がなくなるのでコミュニティバスは必要」という意見が多数あった。

そこで、都祁地域の公共交通を維持するため、都祁地域コミュニティバスの利用実態や課題を明らかにするためのアンケート調査を行った。

(2) 調査方法

都祁地域自治会加入全世帯1,407世帯を対象に、自治会を通じてアンケート調査を実施した。その他、公共施設（都祁交流センター、都祁福祉センター、都祁診療所、都祁診療所）にアンケート用紙を設置し実施した。

(3) 調査期間

令和3年9月22日（水）配布、10月27日（水）回収。

(4) 回答数

配布総数1,411枚で回収数は1,093枚。回収率は77.4%であった。うち、有効回答数は、1,061枚である。

(5) 今後の方針

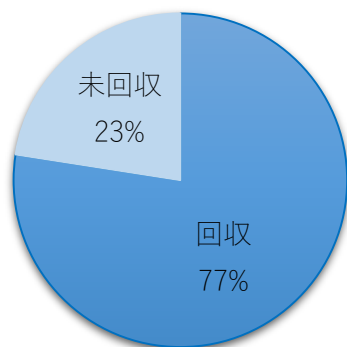
本アンケート調査の結果や運行実績を踏まえ、ルートや運行本数、時間帯の見直し等の改善策を検討及び実施し、その効果を検証する。

2. コミュニティバスアンケート結果

問1 あなたと同居しているご家族について、お聞きします。

(1) 住居地区

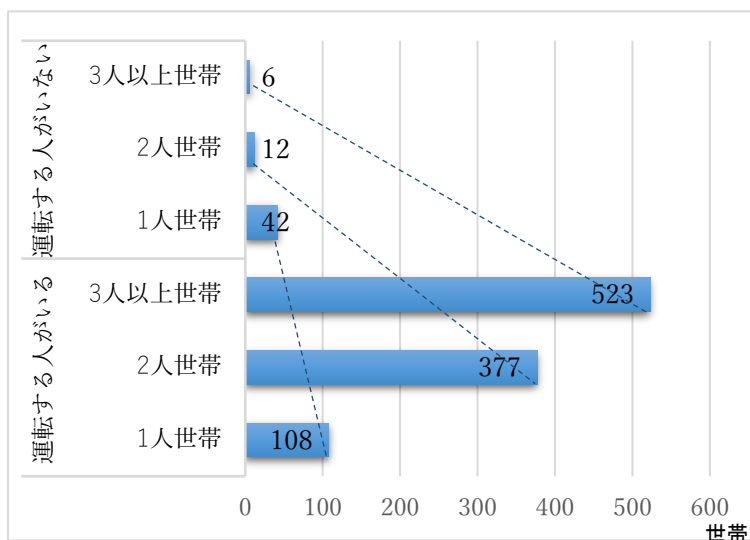
地区別の回収率は、次のとおりである。



	並松地区	都祁地区	吐山地区	六郷地区	未記入	施設設置	合計
配布総数	309	411	332	355		4	1,411
回収数	226	327	239	265	32	4	1,093
未回収数	83	84	93	90	△32	0	318
回収率	73%	79%	72%	75%		—	77%

※施設について、都祁交流センター、都祁福祉センター、都祁診療所、都祁保健センターの4ヶ所へ9月22日～10月27日の期間設置しました。

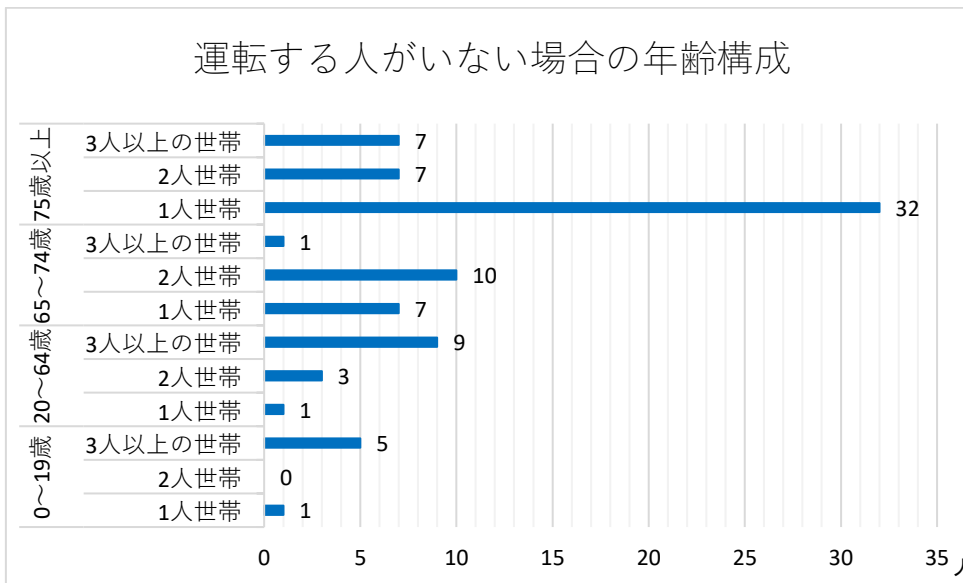
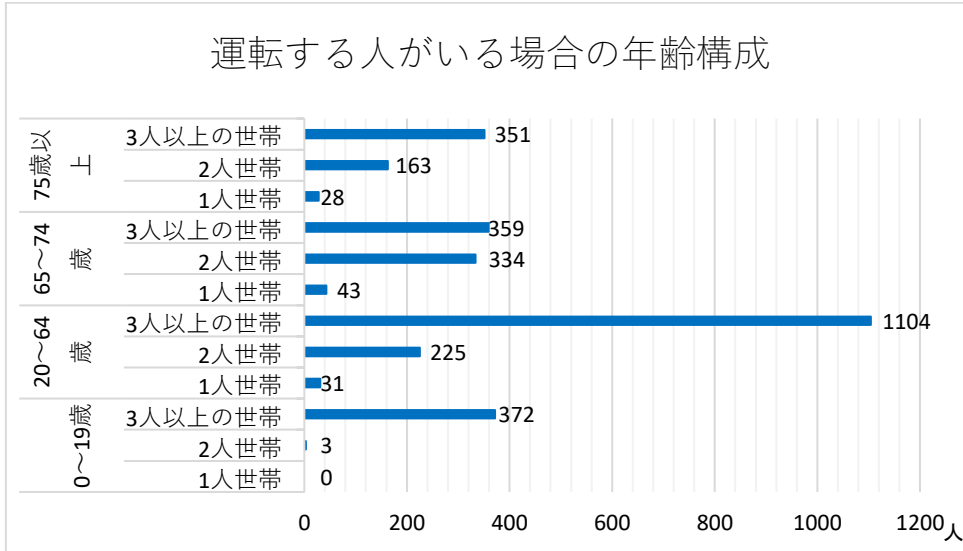
(2) 車を運転する人・(3) 家族人数



運転する人がいる	1人世帯	108
	2人世帯	377
	3人以上世帯	523
	計	1,008
運転する人がいない	1人世帯	42
	2人世帯	12
	3人以上世帯	6
	計	60
未記入		25
合計		1,093

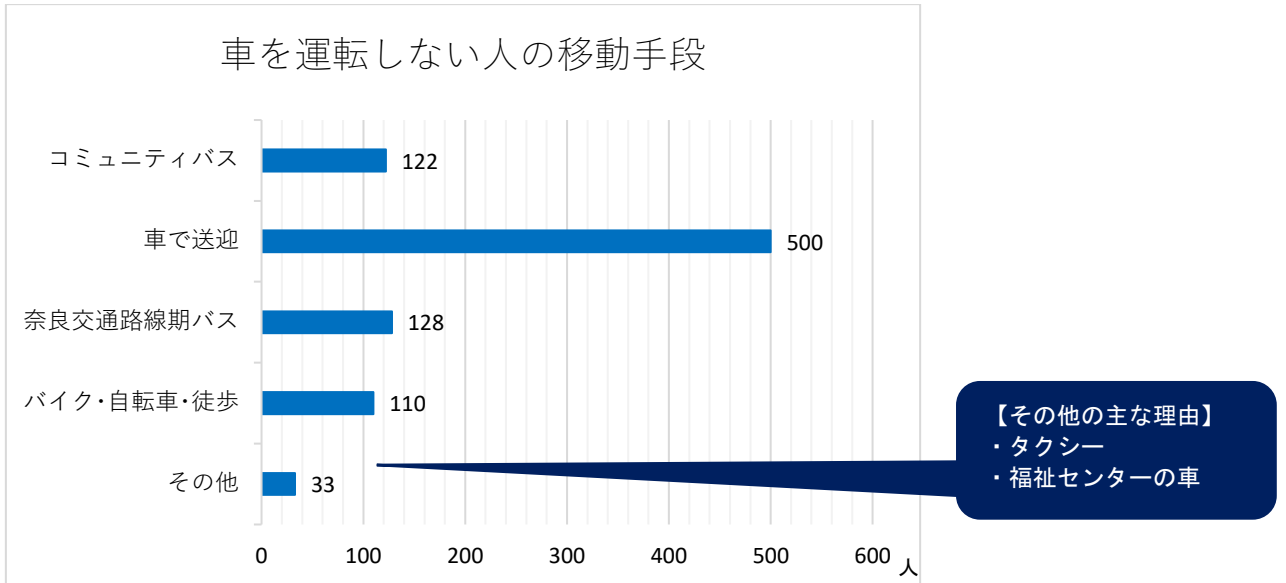
- ・運転する人がいない場合の約7割が1人世帯、2割が2人世帯、1割が1人世帯であった。
- ・運転する人がいる場合の約5割が3人以上の世帯、約4割が2人世帯、1割が1人世帯である。

(4) 家族全員の年齢構成



- ・ 75歳以上で1人世帯の運転する人がいない場合が約4割と多く、交通弱者の移動手段の確保は必要である。

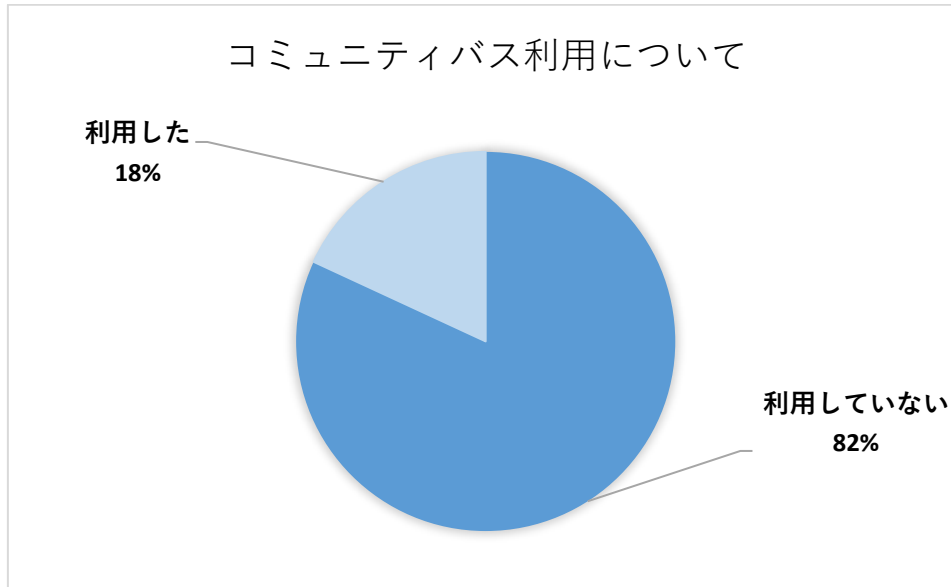
(5) 運転をしない人の移動手段



・家族若しくは家族以外が車で送迎するが約6割を占めている。都祁地域は自家用車に依存した生活スタイルとなっている。

問2 コミュニティバス利用についてお聞きします。

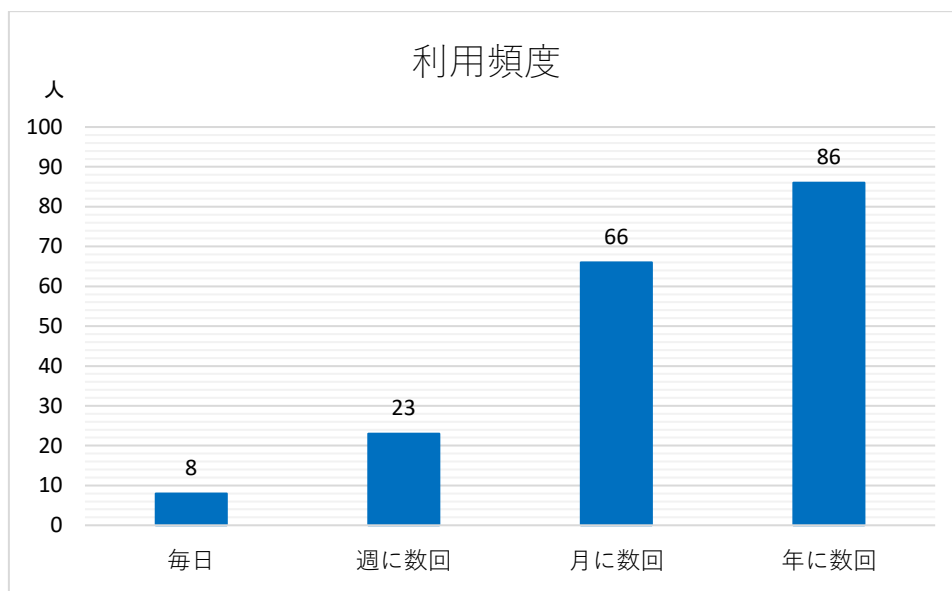
(1) あなたの世帯で、コミュニティバスを利用したことがありますか。



・利用したことがある世帯は191世帯で、約2割の低利用率であった。

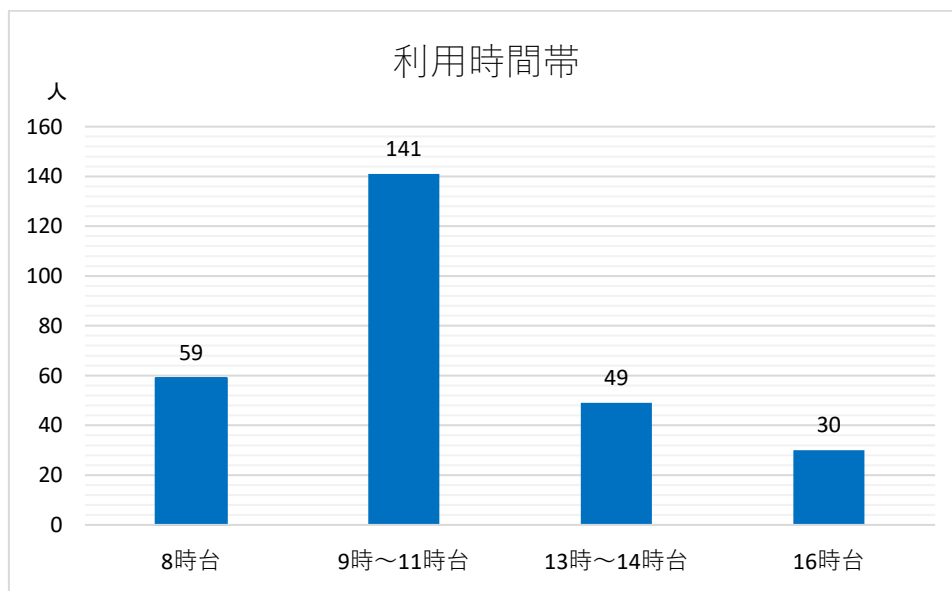
問3 問2(1)で「利用した」と回答した方にお聞きします。

(1) 利用の頻度についてお答えください。



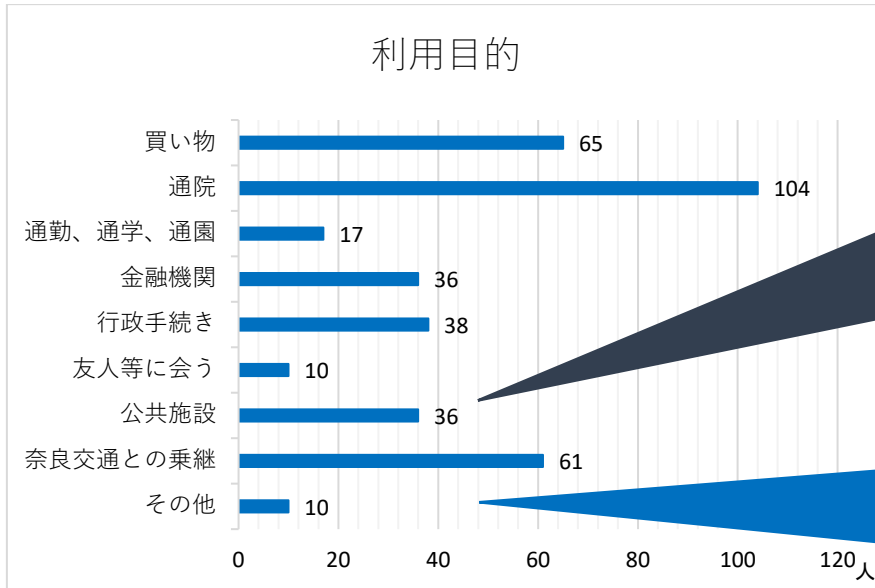
・年に数回の利用が最も多く約5割、月に数回が約4割であり、定着した利用がされていない。

(2) 利用時間帯についてお答えください。



・午前中の利用が多く、9時~11時の利用が約5割である。

(3) 利用した目的についてお答えください。

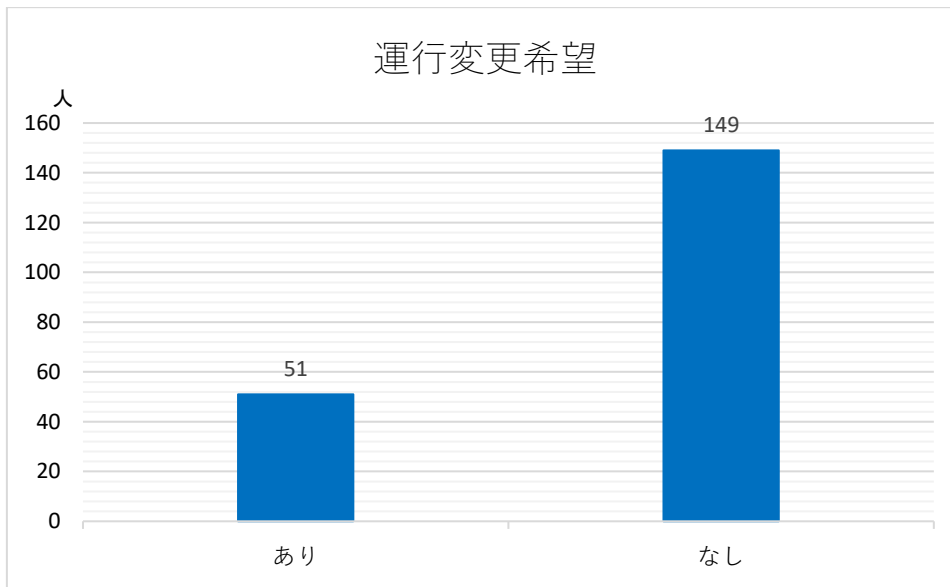


- 【利用した公共施設】
- ・福祉センター
 - ・都祁こども園
 - ・都祁公民館
 - ・都祁交流センター
 - ・奈良市役所
 - ・各種講演会場
 - ・各種展示会施設
 - ・国立博物館
 - ・高原屋横共有スペース

- 【その他の主な目的】
- ・バイクショップ
 - ・習い事（水間から奈良交通バス乗継利用）
 - ・飲み会
 - ・信仰している神社参り
 - ・市内までの駐車場

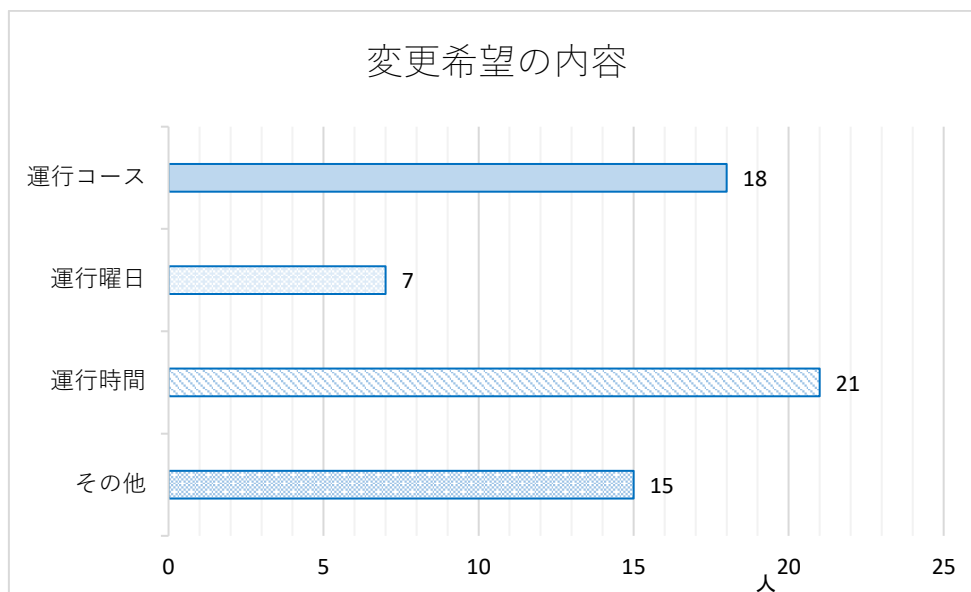
・通院が約3割、買い物が約2割、奈良交通との乗継も約2割であり日常生活に密着している。

(4) 現在の運行（コース・時間帯等）に関して、変更の希望はありますか。



・約7割が運行変更の希望はない結果であった。

(5) 変更を希望する方に、その内容をお聞きします。



各項目の主な内容は下記のとおり

1. 運行コース（行きたい場所）

- ・ 榛原駅（榛原方面） 3人
- ・ 近鉄・JR奈良駅 2人
- ・ 都祁福祉センター 5人
- ・ 南之庄→下水間→奈良
- ・ 宇陀市立病院
- ・ 診療所まで乗継無しで行きたい
- ・ コミュニティバスの乗降場所まで

2. 運行曜日（希望曜日）

- ・ 全日
- ・ 火曜日・木曜日

3. 運行時間（希望時間）

- ・ 朝、夕方
- ・ 17時～18時
- ・ 17時～19時
- ・ 15時～15時30分
- ・ 午前中に数便欲しい
- ・ 8時～9時
- ・ 8時～12時

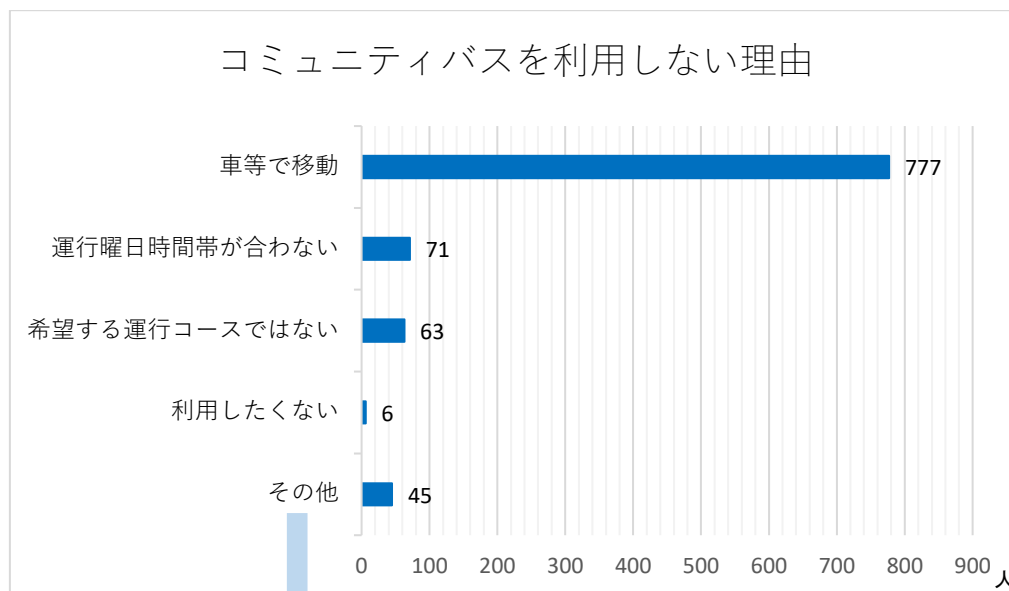
4. その他

- ・ 帰りの便が欲しい
- ・ 自宅近くまで来て欲しい
- ・ 予約制にして欲しい
- ・ 針テラスでの乗り継ぎなしで直通便
- ・ 市内や大阪方面への有効活用が可能な時間帯の新設
- ・ 8時台から午前中で水間から奈良交通乗継で1時間に1本程度
- ・ 回数の増便
- ・ 中学生の通学時間
- ・ 下水間までの増便

- ・ 運行コースで約3割、同じく運行時間で約3割の変更希望があった。
- ・ 運行曜日を変更希望されている方のほとんどが全日希望されていた。

問4 問2で「利用していない」と回答された方にお聞きします。

(1) 利用しない理由をお答えください。

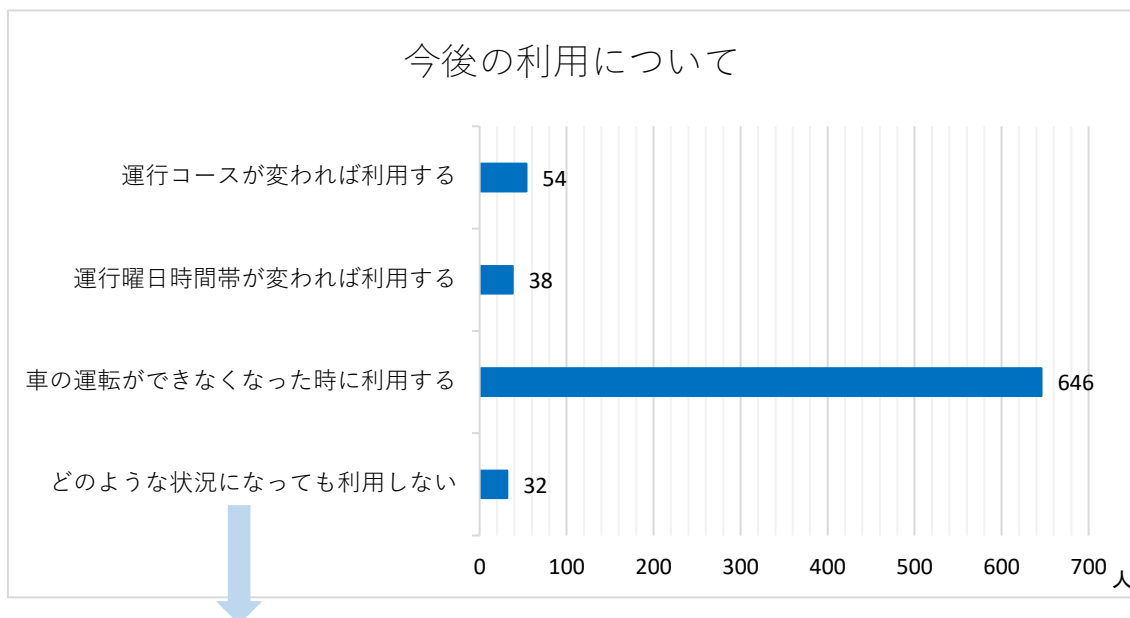


【その他の利用しない理由】

- ・車を運転できる間は利用しない
- ・将来免許返納すれば利用する
- ・運行回数が少ないから
- ・駅まで行くなら利用したい
- ・家に近いところに奈良交通のバス停がある
- ・運行コースの乗降場所まで行けない
- ・中学生が通学に使えるなら利用したい
- ・徒歩で買い物などが出来ている
- ・高齢で足が弱っているため利用できない
- ・帰りの時間が気になる
- ・車椅子でも利用できますか？
- ・今は利用していないだけ。今後必要である
- ・体が不自由なため利用できない
- ・コミュニティバスの認知度が低いと感じにくい
- ・いつ走っているかわからない
- ・転居したばかりで理解できていないが利用したいと思う
- ・足が悪く行きたいところへすぐ行けないから
- ・連絡方法が分かりにくい

・約8割が車等で移動できるためコミュニティバスを利用していない。

(2) 今後の利用についてお答えください。



【どのような状況になっても利用しない理由】

- ・ 地形的に無理、利用できない
- ・ 福祉センターのいきいき教室で利用していたが終わる時間が早くなり疲れるので利用しない
- ・ 一人では外出できない（一人で乗り降りできない）
- ・ 急ぐ時に間に合わない
- ・ 時間に縛られる
- ・ 利便性に欠ける
- ・ 路線バスのように駅まで行かない
- ・ 本数がない
- ・ 歩くのが不自由
- ・ 必要と感しない
- ・ 車は時間が自由、玄関から目的地まで歩かなくてよい
- ・ バス停まで歩く必要があり、バスも行きたいところまで行かない
- ・ 短時間の用事であっても次のバス時間まで長時間待つ必要があるため
- ・ 不便

①車の運転ができなくなった時に利用する 84%

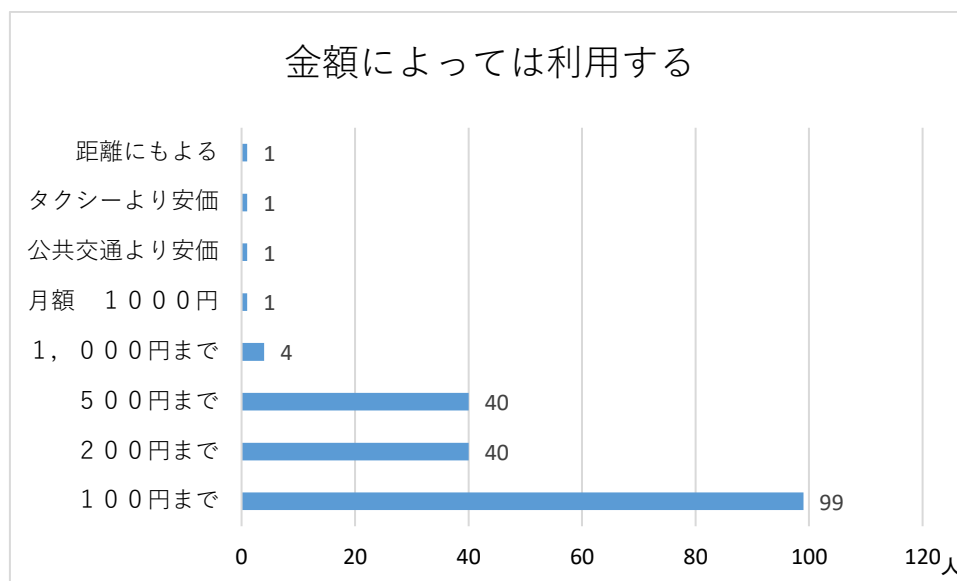
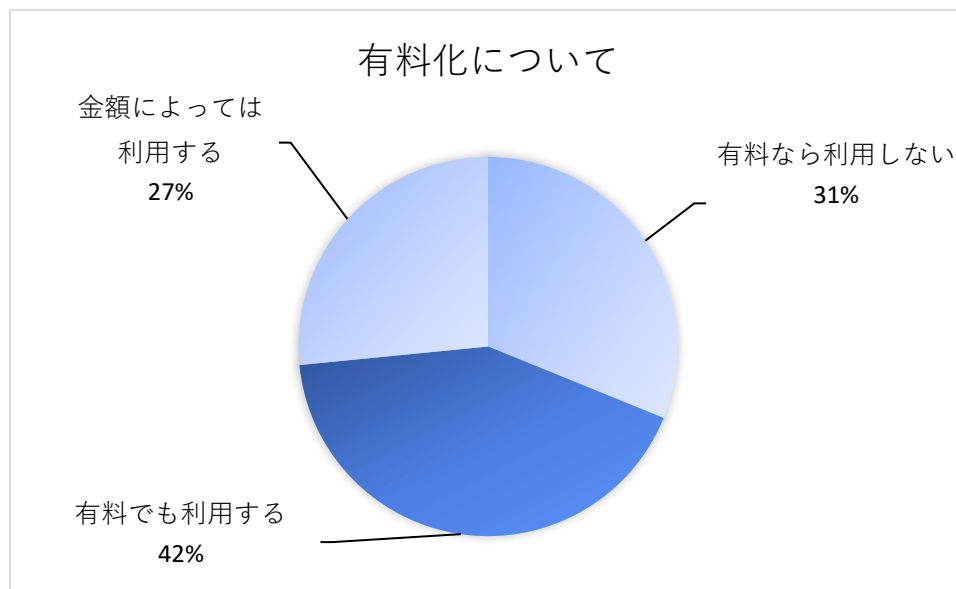
②運行コースが変われば利用する 7%

③運行曜日時間帯が変われば利用する 5%

④どのような状況になっても利用しない 4%

の順位であった。約8割の方がコミュニティバスを必要としている。

問5 有料化について、お聞きします。



・約3割の方が無料を希望している。

問6 その他ご意見・ご希望がございましたらご記入ください。

299名の方から多くの意見等をいただき、その概要は以下のとおりである。

○運行本数の増加

- ・行きは時間に合わせることもできても帰りがどうにもならない。高齢者は足が不自由、腰も具合が悪い等々、帰りを考えると利用できない。
- ・15分待てばバスが来てくれる状態であれば活用する。
- ・通院や買い物で利用しているが、帰りのバスが間に合わないよう不安。
- ・便数が少なく乗車時間が長い。
- ・待ち時間が長く疲れる。
- ・低金額で本数を増やして欲しい。

○運行ルートの変更

- ・高齢者のため運転限界ですが、やむを得ず運転している。目的は、通学の送迎、通院、買い物である。運行ルートを見直して、利用しやすいようにして欲しい。
- ・近隣市町村との連携をして欲しい。
- ・主要近鉄駅直結を希望。
- ・榛原駅、天理駅までの便を希望。
- ・近鉄奈良駅・JR奈良駅までの直通が必要。1日2本は走らせて欲しい。
- ・奈良市内へのコース延伸を希望。
- ・通学で最寄り駅まで利用できる運行。
- ・地域内だけでは用事が済まされないので地域外へのコースを検討して欲しい。
- ・地域の診療所には行くことができるが総合病院へ行くことができない。通院だけでもストレスなく行きたい。
- ・幹線だけでなく支線もコース検討して欲しい。公平性にも注力願いたい。
- ・目的地までの直行を希望。
- ・ニーズに合った運行ルートを。

○運行時間帯の変更

- ・福祉センターの「いきいき教室」で利用していたが運行時間が変更したため欠席している。
- ・往復利用ができる時間帯での運行に改善して欲しい。
- ・中学生の下校で利用できる時間帯の運行をして欲しい。
- ・乗車日時を予約制にして欲しい。
- ・14時、15時台の運行希望。
- ・以前は利用していたが現在は運行時間帯が合わず利用していない。
- ・スクールバスに一般の利用者も乗れるようにしたらどうか。

○運行日の増加

- ・日曜日も運行して欲しい。

○乗降場所について

- ・乗降場所から自宅が遠いため不安。
- ・乗降場所まで行けないので予約制にして家の前まで来て欲しい。
- ・下水間のバス乗り場の足元がこわいと感じる。足の不自由な人でも安心して利用できるよう現場を見て欲しい。

○情報提供の充実・改善

- ・路線バスのように分かりやすい時刻表を掲示して欲しい。
- ・バスがどういうものなのか全く知らない。いつから始まったのか、どこをどう通っているのか、誰が使っているのかも全く知らない。年配の人が乗っているイメージ。

○乗り継ぎを円滑化

- ・北コースエリアに居住する者も福祉センターやコメリ等に行けるよう乗り継ぎ時間を考慮して欲しい。
- ・都市部に繋がっていないと意味がない。山添村は名張市までコミュニティバスを運行している。情報交換をして欲しい。
- ・ななまるカードが使える時間帯に連絡便がない。
- ・針テラスで大阪や名古屋行に接続される便があれば若者の利用が増えると思う。
- ・診療所で受診後、針で乗り継ぎをしないと自宅へ戻れないため不便である。
- ・奈良交通との路線バスを朝・ター便でもいいから時間を調整して欲しい。
- ・天理市のコミュニティバス「いちよう号」との連携を希望。

○バス車両の充実

- ・バスの小型化を図り、リクエストも取り入れ有効な運行を願う。
- ・小型化にして経費削減を。
- ・車いすでの通学も利用できるように。
- ・ステップの高さはありますか？
- ・コミュニティバスらしい「車のデザイン」「運行中のチャイム」など主たる利用者のモチベーションを高める等の工夫が欲しい。

○有料化について

- ・利用頻度が少なく、毎日家の前何度か通過するバスを見て申し訳なく思っている。時々利用するのは奈良交通との乗継のため。免許証返納時期がやってくると思うと、移動手段がなくなり、今、コミュニティバスの利用者が少ないことを危惧している。利用料金負担でも継続運行をして欲しい。
- ・受益者負担は必要。公共交通機関よりも大幅に安価な料金であれば利用する。
- ・有料化になるら利用者に対して定期券のようなものを発行して欲しい。
- ・運行費用の一例として、全域利用可能金額が、利用される一人ひとりが支払いきけるガソリン10分の200円を提案する。
- ・乗っている人の年齢層から考えて無料以外考えられない。
- ・有料化は反対。
- ・針インターから榛原線の奈良交通路線バスと共同運行して、吐山⇄針インター間をカバーする場合は500円以内で有料が現実的。そのまま下水間まで運行し、下水間からの便は針テラスで接続すべき。
- ・奈良交通の回送便をコミュニティバスとして運行し、榛原まで300円前後で運行。

○その他

- ・今は不便に感じないが、近い将来、運転ができなくなったら地元のバスは必須。1人暮らしは体力低下、もの忘れなどの不安と共に医療機関、買い物などに利用したい。
- ・積雪時等で急遽運行できなくなった時、連絡をして欲しい。
- ・少人数でも利用者があり、これから先、必ず必要になるので是非存続させて欲しい。
- ・オンデマンドバスの導入検討。
- ・土地柄車がないと生活しにくいので、コミュニティバスは必要。

- ・本当に困っている人達のためにタクシー券発行やお年寄り携帯をレンタルし乗車予約をしてもらう等、安心して住める自然豊かな都祁であって欲しい。
- ・定期コースではなく、デマンドタクシー（タクシー型の乗り合わせ（予約制））で運行して欲しい。
- ・アンケート用紙に立派な紙を使用するのはもったいない。
- ・各種学校へのスクールバスの運行。又は、それに代わる交通手段の充実。
- ・将来的には、コミュニティバスは自由に好きな空間へ移動できるよう、自動運転シェアカーを無料又は低料金で走らせることができれば運転できなくても不自由なく生活でき、人口増加に一役買えるのでは。
- ・コミュニティバスを利用していないがバスを運行して頂けることに安心感があり存続して欲しい。
- ・公共交通機関が充実でない山間地域では通院だけでなく生活全般で支障を期すことは必至。コミュニティバスはありがたい。
- ・利用実態をみて廃止をすべき。その代わり運転できない人のためにタクシー利用券の発行等の代替案を検討すべき。例えば病院行き限定など。
- ・少子高齢化が進めばコミュニティバスは必要。
- ・コロナの時期にアンケートをとるのはいかがなものか時期も考えて欲しい。
- ・費用対効果を考えるべき。
- ・デマンドとの費用対効果も検証すべき。
- ・利用者実績を知りたい。
- ・皆さま利用してください。
- ・老後の安定した一項目として山間部の弱いところを見直して欲しい。
- ・合併特例債の基金の原資や果実を利用して充実を図る必要がある。廃止されれば復活は困難である。
- ・小型化にして運行時間の間隔を今より頻回にし、「買い物の日」とかを決めてそのための運行をする。このことで家に閉じこもっている人も集まって外出することができる。
- ・乗降場所でもう少し長く停まって欲しい。
- ・中学生が通学で利用できるようにして欲しい。
- ・工夫を重ね住民ファーストでの運行を希望する。
- ・数年で買い物難民になるのは目に見えている。
- ・コミュニティバスが廃止されれば再開することは無理であるため継続を希望。
- ・見通しの悪い場所や曲がり角に停まっている時があるので乗降場所を考えて欲しい。
- ・天理市のコミュニティバスは有料化だが乗車人数は多い。
- ・家に引きこもって生活できるように計画している。
- ・10年後には利用者が増えていると思う。
- ・空のバスであっても運行していることに安心感と地域の豊かさを感じる。
- ・六郷地区から針方面に行く際は、乗車時間が短いため都合が良かった。夕方帰宅したい時は、針テラスからの最終便（利用客がいる場合のみ運行）とういのはとても良かった。しかし、利用客は私のみで、この利用方法は、知られていない。とても良いサービスで、利用客がいなければ廃止されると思うので、是非とも利用促進策を導入して欲しい。①行く場所があるか、②往復の交通の便は良いか、③便利な利用方法が周知出来ているか。行政サービスとは言っても、デイサービス、レストランや店への送迎（せめて片道）など、民間とタイアップした予算の効率化も図る必要がある。